

令和4年1月31日

吉川福祉専門学校
校長 久田 晴實

令和3年度 第2回教育課程編成委員会報告の公表について

教育課程編成委員会による本校の「令和3年度第2回教育課程編成委員会報告」を公表します。

1 委員名簿

委員長：久田晴實委員 副委員長：池上千恵美委員

(1) 外部委員

阿部 慎也	グループホーム・小規模多機能型居宅介護 サンパティオ 施設長
小湊 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長
山口 剛介	吉川市健康長寿部長寿支援課 課長
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

(2) 学校側委員

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
山本 晃市	同 事務長代理
田村 貴章	同 係長

2 教育課程編成委員会開催状況

日時：令和3年12月16日（木）10時40分～12時10分

会場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：上記外部委員4名、学校側委員4名

欠席委員：なし

3 委員会次第

開会

(1) 校長挨拶

- (2) 委員長選出
 - (3) 報告
 - ① 第1回委員会報告について
 - ② 今年度の授業改善等に関する取り組み状況について
 - (4) 協議
 - ① 第1回委員会報告で示された意見取り組み・改善の進め方について
 - ② 時間割及び教育課程について
 - ③ 学校に対する意見・要望など
 - (5) その他
 - ① 今後の予定
 - ② 事務連絡等
- 閉会

4 第2回委員会議事要録
別紙のとおり

以上

令和3年度 吉川福祉専門学校 第2回教育課程編成委員会議事要録

令和4年1月31日

- 1 委員の紹介 省略
- 2 校長挨拶 省略
- 3 委員長選出 久田校長
- 4 報告事項
 - ① 第1回委員会報告について
 - ② 今年度の授業改善等に関する取り組み状況について

外部委員及び学校側委員からの提言と質問事項等

(学校) チームマネジメントとキャリアアップについて説明。
(学校) 専任教員・非常勤講師の変更、介護実習について説明。

- 5 協議事項
 - ① 第1回委員会報告で示された意見取り組み・改善の進め方について
 - ② 令和4年度の教育課程について
 - ③ 学校に対する意見・要望など

外部委員及び学校側委員からの提言と質問事項等

(学校) 学生たちは、授業の中だけでは介護職のキャリアアップ等のイメージがなかなか湧かないため、今後は施設の職員の方々に授業等で講話していただく機会を持ってもらえるとありがたい。

(委員) 新人教育が上手な職員がおり、その職員はまず新人職員の話をよく聞いている。そして、指導というよりもやったこと(過程)を褒めている。職員にもいろいろな方がいるので、新人教育は叱るよりも褒めることに重点を置いている。

(委員) 当施設でも、話を聞くことを一番大切にしている。相手が何を考えているのかがわからないと適切な対応ができない。コミュニケーション

ンは相手が何を考えているか、自分がどう思っているかを伝えなければならぬ。人事考課制度により、上司と部下がどのような思いで仕事をし、部下がそれぞれの課題についてどのように達成できるかを具体的に進めることを今年度の目標にしている。お互いにどう思っているのかを確認しあえばいい関係性が構築でき、それがチームとしての第一歩になると考えている。

(委員) 責任者のマネジメントをするのが私の仕事である。責任者それぞれに20名程度の職員を担当してもらい、仕事の相談やコミュニケーションをはかってもらっている。また当施設ではアンガーマネジメント研修を取り入れている。

(委員) 役所の場合は、役職の役割ができていのかどうかを見守る体制である。個々での場面や集まった場面など、話す際のシチュエーションも考慮しながら進めている。

(委員) 当施設での医療的ケアは、養成校からの卒業生と実務者研修修了者の両者について看護職員が研修を行っている。ただ、介護職員の多くが医療的ケアについて不安があるようである。施設として、今後も看護部と連携を取りながら環境整備に取り組んでいきたい。

(学校) 経管栄養、喀痰吸引が必要な方の受け入れ人数は決まっているのか。

(委員) 看護師がいる時間や看護師のいる人数次第である。

(学校) 今年度の入学生から始まる新教育課程での大きな変更点は、人間と社会の領域にあるチームマネジメントの科目である。

(学校) 地域における障害をお持ちの方へのサポートというのはオレンジカフェの他にはあるのか。

(委員) 社会福祉協議会や老人福祉センターなど様々な場所で企画している。企画する側は、学校の生徒さんたちなど、話を聞いてくれる人たちを増やす取り組みを行っている。

(委員) 当施設では、近隣の保育園や幼稚園、また中学校や高校などと地域交流会を行っている。

(学校) ヤングケアラーへの対応（ご意見）を伺いたい。

(委員) 役所として、実態数の把握ができていない部分がある。そもそも自分がヤングケアラーである自覚がない場合もあり、今後は学校関係者とも連携をしていきたいと考える。

(委員) 学生ならではの楽しい時間も必要だと感じる。学校は勉強するだけではなく人とのつながりを持つことも重要である。コロナ禍で難しい部分もあると思うが、学校行事は今後もどんどん実施できると学生も楽しい2年間が過ごせるのでないか。

(委員) 吉川福祉は、在校生と教職員との関係性がとても良いと感じる。今後もそのような関係性を築いてもらいたい。